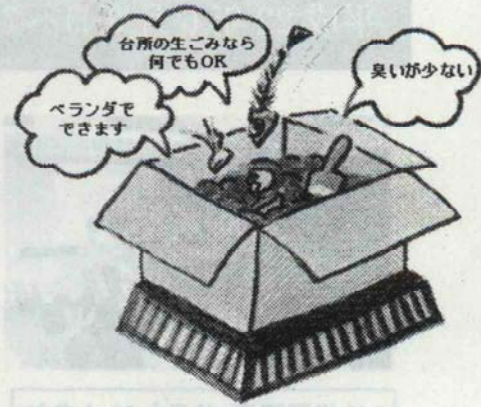


# 「学校で広がる 生ごみリサイクル」

平成22年9月～23年1月

## 参加校募集



### ダンボールコンポストによる 環境学習を企画しませんか？

#### 【学習のねらい】

家庭からでる生ごみが土に還っていくことを学習します。堆肥化の実践を通じてごみ減量に取り組むとともに微生物の存在を知り、自分達の生活を改めて見直し、課題を見つけ出していきます。授業で習ったことを体験することにより「生きた知識」にしていくことをねらいとします。

start		1ヶ月	
実践課程	生ごみ投入	熟成2～3週間	堆肥の利用
サポート内容	・堆肥化授業(2時間) 下記内容と実習	・週1回程度堆肥メンテナンス(朝か昼休み)	・熟成授業(1時間) 実践のまとめ&ねかせ方
学習過程 (学校側)	・ごみを知ろう ・自然の循環 ・堆肥づくりでごみ減量 ・堆肥づくりのコツと工夫	・生ごみの分解過程を観察 ・ごみの減量調査	《発展学習の例》 ・花や野菜を育てる ・発芽実験 ・収穫祭(調理) ・新聞作り、ワークショップ

## 安心して取り組めるしくみ

#### しくみ① むずかしくない？

いろいろある生ごみ堆肥の中でもダンボールコンポストの方法は簡単で初心者向き。しかも経験ある講師が指導とアフターフォローをしますので安心して取り組みます。

#### しくみ② できた「堆肥」は？

スタートから熟成まで1ヵ月半～2ヶ月でバランスの良い堆肥が出来上がります。できた堆肥は1(堆肥):3(土)で花や野菜に使用しますので、工夫次第で発展学習に取り組めます。

#### しくみ③ 臭くないの？

他の堆肥づくりに比べて、臭いが少ないのがダンボールコンポストの特徴です。あざみ野第二小学校では、廊下に26個のダンボールを並べて取り組みました。

### 募集要項

- 【対象】 麻生区内の小学校 4～6年生
- 【指導】 環境を考え行動する会(川崎市生ごみリサイクルリーダーに6名が認定されています)
- 【講師料・教材費】 無料 麻生区地域コミュニティ活動支援事業より助成を受けています
- 【教材内容】 ダンボールコンポスト堆肥化セット1式 副読本(小学生用)・冊子(教師用)
- 【実施期間】 平成22年9月～平成23年1月<2校を実施予定> (詳細はお問合せ下さい)
- 【主催・申込先】 環境を考え行動する会 <http://web-k.jp/kankyo-act/> kankyo-act@web-k.jp  
Tel&Fax 044-988-9474(天野)



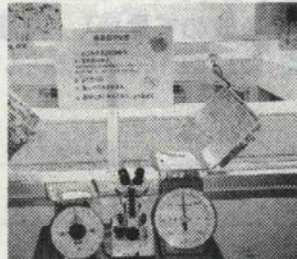
6/3 堆肥講座: 父母も 20 人参加



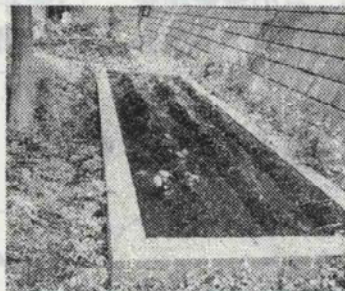
取組スタート: 4 人で 1 個のダンボールを担当。26 個廊下に並べ準備OK



先生より: コンポストから温泉のように湯気が出たグループもあり、みんなで「あったかい。」と感動、いっぱい感動できることがあり、子どもってすばらしいですね。毎日が感動です。



6/4～7/2 : 毎朝 温度を測り、家庭から持参した生ごみを計量してダンボールに入れ、よくかき混ぜます。



7/3～7/20(熟成期間) : 生ごみ投入はせずに、毎日かき混ぜて観察します。できた堆肥の半分は夏休みに各家庭で使用し、半分は秋に学校花壇で使う予定。

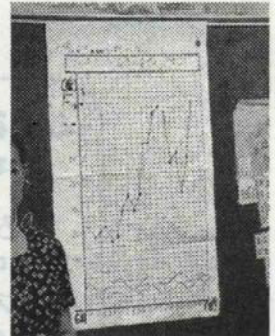
### こどもたちの感想: まとめの授業で

#### ★ ダンボールコンポストを实践して、感じたこと。

- どんなにに入れても、ごみがいっぱいにならないので、ごみを減らせたと思った。
- 初めは25度だったのが、今は49度まで温度が上がってビックリした。
- 白カビがいっぱいはえて、うれしかった。
- 白カビが多いときは温度も高いと思った。
- 白カビを手でさわったら、べたべたしてじめつとしていた。
- 最初臭いがきつかったが、今は臭いが消えてなくなった。
- 最初は嫌だったけど、だんだん慣れてきて、今は平気。
- 最初のころは、廊下にいたくなかったけど...
- グレープフルーツの皮が2～3日で微生物の働きで消えてしまった。
- 温度が上がって嬉しかった。
- 初めと色がちがうし、湿り気がある。

#### ★ できた堆肥をどうしたいですか？

- 野菜を育てたい。
- ミニトマトを育てたい。
- かぼちゃを育てたい。
- 育てた野菜と買ってきたものと食べ比べてみたい。



### 家庭からのメッセージ

- 魚の骨と頭がいい！というので週末は大きい干物や舌平目など…。たくさん生ごみを持って行くことができました。
- 「コンポストに湯気が出て来たよ。」ととっても喜んでいました。「朝入れたスイカがあつという間になくなっちゃたんだヨ。」と毎日色々な発見があるようで楽しそうです。
- コンポストの様子はとても気になるようで「うちの班が一番すすんでるかも！」「ゆびを入れられないくらい、あつくなっている！」と教えてくれました。コンポストのお陰で、家でも会話がはずみました。

### 環境を考え行動する会: 川崎市麻生区

限りある資源を浪費することなく、次の世代に少しでもよりよい環境を残せたらと、2007年8月に発足しました。小さくてもできることから行動しようと、2年前より「ダンボールコンポストで生ごみリサイクル」の普及活動を行っています。「毎日家庭から出る生ごみを削減して、堆肥として土に還す。」という昔ながらの“循環の輪”を体験でき、面白い、楽しいと好評で、私達が広めた実践者は650名を越えました。町の花壇に生ごみ堆肥を入れ、その旨プレートを立ててPRしています。

★コンポストよろず相談会 第1、第3火曜日 午前10時～12時 於天野宅車庫 実践者フォローやレスキューも実施